

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成23年5月26日 (2011.5.26)

【公開番号】特開2009-1784(P2009-1784A)

【公開日】平成21年1月8日 (2009.1.8)

【年通号数】公開・登録公報2009-001

【出願番号】特願2008-129078(P2008-129078)

【国際特許分類】

C 0 9 K 11/06 (2006.01)

H 0 1 L 51/05 (2006.01)

H 0 1 L 51/30 (2006.01)

H 0 1 L 29/786 (2006.01)

H 0 1 L 51/50 (2006.01)

【 F I 】

C 0 9 K 11/06 6 1 0

H 0 1 L 29/28 1 0 0 A

H 0 1 L 29/28 2 5 0 H

H 0 1 L 29/78 6 1 8 B

H 0 5 B 33/14 B

【手続補正書】

【提出日】平成23年4月12日 (2011.4.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

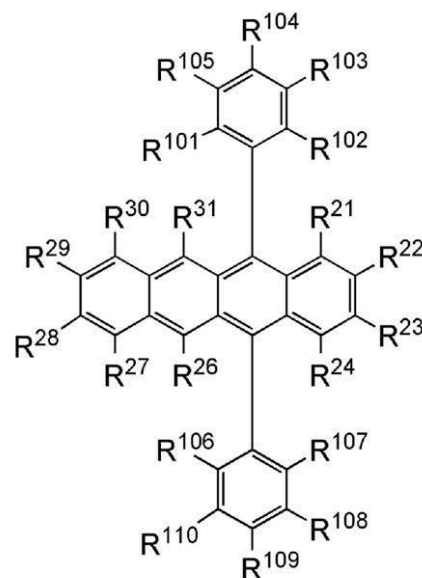
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

一般式 (1) で表されるポリアセン誘導体を含む有機デバイス用材料。

【化 1】



(1)

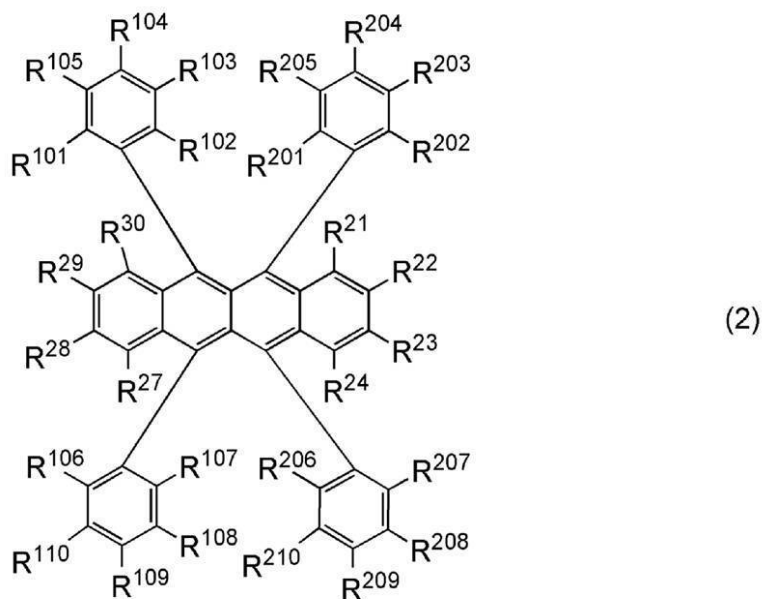
(式中、 $R^{101} \sim R^{102}$ および $R^{106} \sim R^{107}$ は、それぞれ、アルキル基またはフェニル基を表す。また、 $R^{103} \sim R^{105}$ および $R^{108} \sim R^{110}$ は、それぞれ、

水素またはアルキル基またはフェニル基を表す。また、 $R^{21} \sim R^{24}$ および $R^{26} \sim R^{31}$ は、それぞれ、水素またはアルキル基またはフェニル基を表す。)

【請求項 2】

一般式 (2) で表されるポリアセン誘導体を含む有機デバイス用材料。

【化 2】

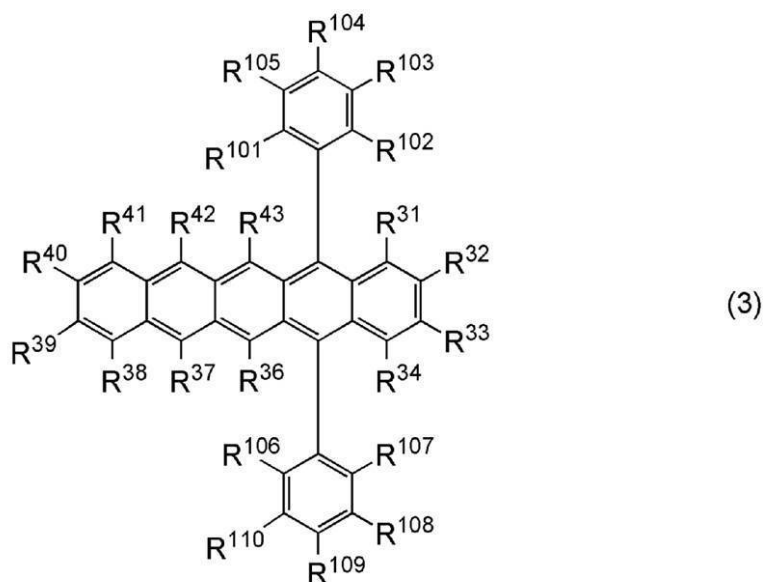


(式中、 $R^{101} \sim R^{102}$ および $R^{106} \sim R^{107}$ は、それぞれ、アルキル基またはフェニル基を表す。また、 $R^{103} \sim R^{105}$ および $R^{108} \sim R^{110}$ は、それぞれ、水素またはアルキル基またはフェニル基を表す。また、 $R^{201} \sim R^{202}$ および $R^{206} \sim R^{207}$ は、それぞれ、アルキル基またはフェニル基を表す。また、 $R^{203} \sim R^{205}$ および $R^{208} \sim R^{210}$ は、それぞれ、水素またはアルキル基またはフェニル基を表す。また、 $R^{21} \sim R^{24}$ および $R^{27} \sim R^{30}$ は、それぞれ、水素またはアルキル基またはフェニル基を表す。)

【請求項 3】

一般式 (3) で表されるポリアセン誘導体を含む有機デバイス用材料。

【化 3】



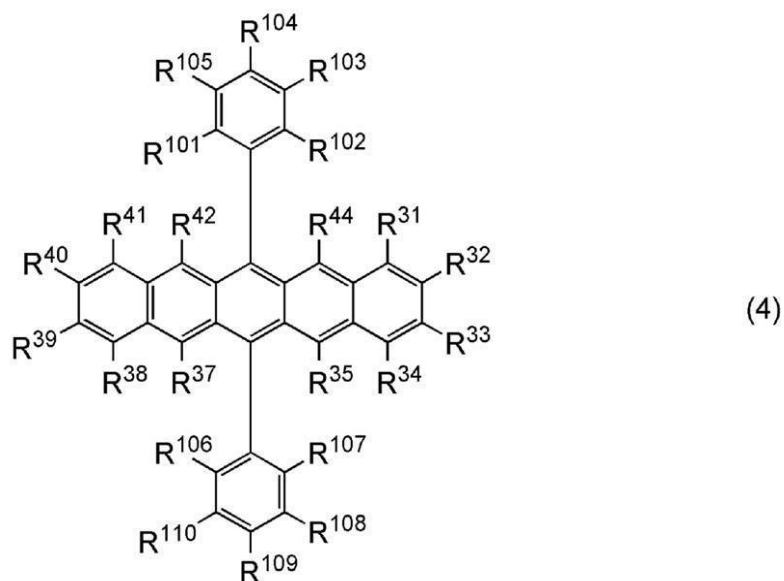
(式中、 $R^{101} \sim R^{102}$ および $R^{106} \sim R^{107}$ は、それぞれ、アルキル基またはフェニル基を表す。また、 $R^{103} \sim R^{105}$ および $R^{108} \sim R^{110}$ は、それぞれ、

水素またはアルキル基またはフェニル基を表す。また、 $R^{31} \sim R^{34}$ および $R^{36} \sim R^{43}$ は、それぞれ、水素またはアルキル基またはフェニル基を表す。)

【請求項 4】

一般式 (4) で表されるポリアセン誘導体を含む有機デバイス用材料。

【化 4】

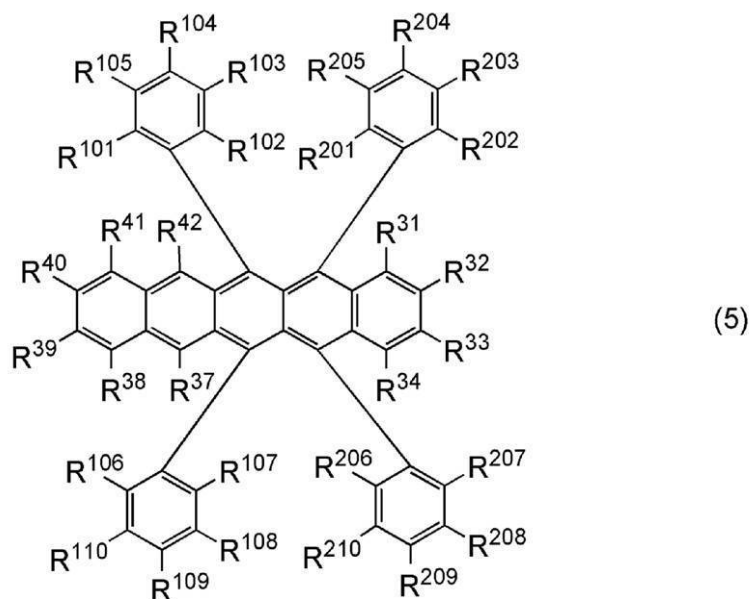


(式中、 $R^{101} \sim R^{102}$ および $R^{106} \sim R^{107}$ は、それぞれ、アルキル基またはフェニル基を表す。また、 $R^{103} \sim R^{105}$ および $R^{108} \sim R^{110}$ は、それぞれ、水素またはアルキル基またはフェニル基を表す。また、 $R^{31} \sim R^{35}$ および $R^{37} \sim R^{42}$ および R^{44} は、それぞれ、水素またはアルキル基またはフェニル基を表す。)

【請求項 5】

一般式 (5) で表されるポリアセン誘導体を含む有機デバイス用材料。

【化 5】



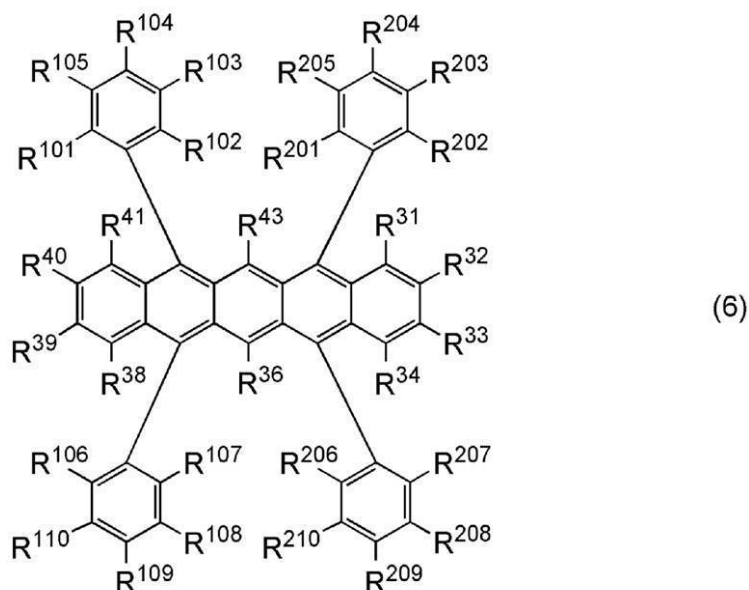
(式中、 $R^{101} \sim R^{102}$ および $R^{106} \sim R^{107}$ は、それぞれ、アルキル基またはフェニル基を表す。また、 $R^{103} \sim R^{105}$ および $R^{108} \sim R^{110}$ は、それぞれ、水素またはアルキル基またはフェニル基を表す。また、 $R^{201} \sim R^{202}$ および $R^{206} \sim R^{207}$ は、それぞれ、アルキル基またはフェニル基を表す。また、 $R^{203} \sim R^{205}$ および $R^{208} \sim R^{210}$ は、それぞれ、水素またはアルキル基またはフェニル基を

表す。また、 $R^{31} \sim R^{34}$ および $R^{37} \sim R^{42}$ は、それぞれ、水素またはアルキル基またはフェニル基を表す。)

【請求項 6】

一般式 (6) で表されるポリアセン誘導体を含む有機デバイス用材料。

【化 6】

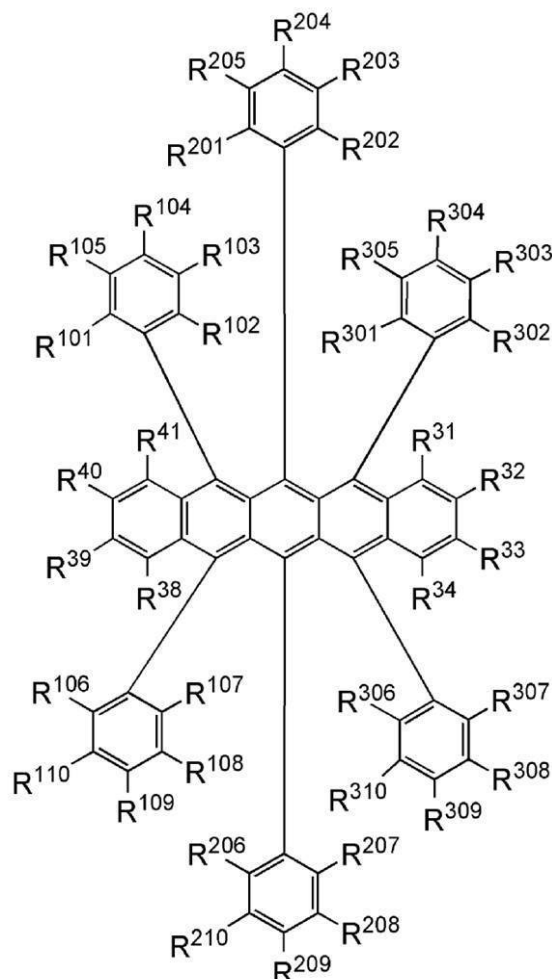


(式中、 $R^{101} \sim R^{102}$ および $R^{106} \sim R^{107}$ は、それぞれ、アルキル基またはフェニル基を表す。また、 $R^{103} \sim R^{105}$ および $R^{108} \sim R^{110}$ は、それぞれ、水素またはアルキル基またはフェニル基を表す。また、 $R^{201} \sim R^{202}$ および $R^{206} \sim R^{207}$ は、それぞれ、アルキル基またはフェニル基を表す。また、 $R^{203} \sim R^{205}$ および $R^{208} \sim R^{210}$ は、それぞれ、水素またはアルキル基またはフェニル基を表す。また、 $R^{31} \sim R^{34}$ および R^{36} および $R^{38} \sim R^{41}$ および R^{43} は、それぞれ、水素またはアルキル基またはフェニル基を表す。)

【請求項 7】

一般式 (7) で表されるポリアセン誘導体を含む有機デバイス用材料。

(7)



【請求項 8】

【請求項 9】

【請求項 10】

【請求項 1 1】

前記表示部は、請求項 8 または請求項 9 に記載の発光素子と前記発光素子の発光を制御す

る制御回路とを備えたことを特徴とする電子機器。

【請求項 1 2】

請求項 1 乃至請求項 7 のいずれか一項に記載の有機デバイス用材料を含むことを特徴とする電界効果トランジスタ。

【請求項 1 3】

請求項 1 乃至請求項 7 のいずれか一項に記載の有機デバイス用材料を含む層と、ソース電極とドレイン電極と、ゲート電極を有することを特徴とする電界効果トランジスタ。

【請求項 1 4】

請求項 1 2 または請求項 1 3 に記載の電界効果トランジスタを含む半導体装置。